

柎の木からの手紙

2026年 睦月 1月号

明けまして おめでとうございます。



3日： 満月 旧 11月 15日
5日： 小寒
19日： 新月 旧 12月 1日
20日： 大寒

去る12月22日冬至の日。
WEBでセミナーが行われた。題名は
**リジェネレーター
土に恋する大地再生者たち
刊行記念トーク 第一弾**

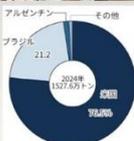
辻信一氏がコーディネーター
パネリストは、
吉田 太郎
岡本 よりたか
レイモンド・イップご夫妻
瀬尾 義春
レイモンドさんご夫妻は2023年1月25
日に端野町の施設で直接講演を聞いた方。

- ・農薬散布は病虫害の餌を増やす
- ・肥料と農薬は対になっている。両輪になっている。
- ・土壌は農業の生産現場である前に、生命の生活圏である。
- ・不耕起、多様性、カバークロップ（土壌を裸にしない）
- ・気候変動・・・二酸化炭素が原因で暑くなっている

⇒カーボンニュートラル以上カーボンマイナスにしなくては追いつかない

高市政権の農業政策

- ◆ トランプ関税対策で大量の大豆・トウモロコシの輸入を約束
- ◆ 「増産」（石破前政権）→「需要に応じた生産」（高市政権）
- ◆ 植物工場
- ◆ 17分野の重点投資対象フードテック、バイオテクノロジーに重点的に投資
- ◆ 米価高騰対策はお米券3000円
- ◆ 農業の構造的な問題にはスルー



17分野の重点投資対象	
AI・半導体	
造船	
量子	
合成生物学・バイオ	
航空・宇宙	
デジタル・サイバーセキュリティ	
コンテンツ(ゲームやアニメ産業など)	
フードテック(食品開発など)	
資源・エネルギー-安全保障・GX	
防災・国土強靱(きょうじん)化	
創薬・先端医療	
フュージョンエネルギー(核融合)	
マテリアル(重要鉱物・部素材)	
港湾ロジスティクス(物流)	
防衛産業	
情報通信	
海洋	

カバークロップは、1年に12mmの土壌再生がある。水の循環を大切に土を裸にしない事が大切。

去年は、肥料会社ハートランドの瀬尾氏・一戸農場さんの指導の為か美幌町内で3名、小清水町で1名の若い農業者が有機農業に登録されMOA販売と繋がりました。

政策として有機農業を拡大する方向が示される中で、国連が提唱する「家族農業」が生き残れる政策も大切ですね。



暦 と 気象 に関する俚諺の一つに次の様なものがあります。

☆ 雨量 と 地下水

雨量 ⇒ 旧正月元日から最初の未の日までの日数でその年の雨量を予知

元日 が 未 ⇒ 1合水 旱魃

三日目が 未 ⇒ 3合水 旱魃

十日目が 未 ⇒ 1升水 大水

地下水 ⇒ 正月元日 から最初の未の日の日数

2026年令和8年丙午		
旧正月	2月17日	
最初の未	2月26日	10日目
最初の未	1月9日	9日目
雨量	10	
———	=	——— ⇒ 多い
地下水	9	

☆ 旧正月 と 立春

2026年	
旧正月	2月17日
立春	2月4日

立春より早い ⇒ 春が早い 秋が短い

⇒ 立春と同じ頃 ⇒ 平年並み

立春より遅い ⇒ 春遅い 秋が長い 夏短い

☆ 豊作

- ・小寒の日（1月5日） 少し雨が降る ⇒ 麦 豊作
- ・小寒の日（寒の入り） 雪降るは ⇒ 豊作
- ・寒中に雷鳴 ⇒ 豊作
- ・寒中にしばしば雨降る ⇒ 春 豊作
- ・旱魃 に 凶作なし
- ・旧暦閏年に 凶作なし

☆ 凶作

- ・日食 ある年は ⇒ 凶作多い
- ・月食 ある年は ⇒ 蔓作凶作 3月3日18時50分頃から皆既月食
20時30分頃が皆既最大